

保護者様

北九州市立皿倉小学校
校長 池田 洋士

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

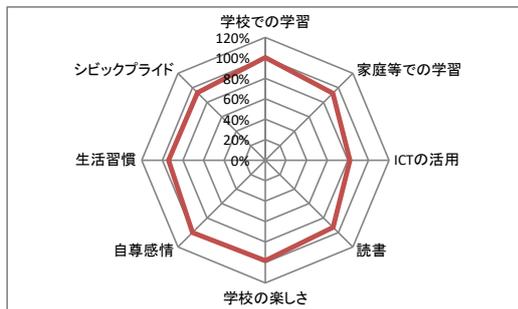
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析（傾向や特徴） |
|-------|---|
| 国語 | 正答率について、観点別にみると「知識・技能」、形式別にみると「短答式」の問題が全国よりも高く、領域別にみると「書くこと」の領域が全国よりも低かった。 |
| 算数 | 正答率について、形式別にみると「記述式」の正答率は全国よりも高く、「選択式」の正答率は全国よりも低かった。領域別にみると、どの領域も全国と同程度であった。 |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



| 質問紙調査の結果分析 | | | |
|------------------|--------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 友達関係に満足している | 先生はあなたのよいところを認めてくれると思う | 人の役に立つ人間になりたいと思う | 9割以上の児童が肯定的に回答した。 |
| 読書は好きですか | 学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか | 肯定的回答は、全国よりも低かった。 | |
| ICT活用に関する各項目 | 肯定的回答の割合が全国より下回るものが多かった。 | | |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | 回答した児童の割合は7割未満であり、全国よりも10ポイント以上低かった。 | | |
| 上記のうち課題となるものについて | 授業改善を進めたり保護者への啓発を図ったりする必要がある。 | | |

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・思考力・判断力・表現力を育成することができるように、根拠を基にして筋道をたてて考えたり表現したりする活動を日頃の学習の中で多く取り入れる。
- ・学習意欲を高めることができるように、探究的な学びを教科等の中に位置付ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・起床・就寝時刻の設定や朝食をとること、家庭学習の習慣化について、児童や保護者に機会を捉えて啓発する。
- ・地域の行事への参加や、地域や社会をよくするために自分にできることについて考える場面を時間をとり、シビックプライドを醸成する。